

科目名 Course Name	臨床栄養学概論 Introduction to Clinical Nutrition			ナンバリング No.	L3-012		
年次	2年	期別	通年	単位数	4	授業形態	講義
担当者氏名	小原淳子						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または講義終了後非常勤講師室。						
必修/選択	選択(栄養士養成課程選択必修)						
関連 DP	DP2, DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>傷病者の病態や栄養状態に基づいた総合的な栄養管理を理解し、栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医療品の相互作用について修得し、医療・介護制度や医療チームにおける栄養管理や栄養士の役割を学ぶ。</p> <p>① 各疾患の病態がどのようになっているのか的確に説明できるようにする。それにより各種療法の意義を考えることができるようにする。</p> <p>② 疾患の病期や重症度の診断基準を習得し、どの段階からどの療法が中心となるのかを識別できるようにする。</p> <p>③ 各種栄養療法の特徴を習得し、栄養サポートチームの役割などを説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	<p>講義形式で実施し、映像機器を利用した視聴覚教材を用いる。</p> <p>上記の3つの授業目標に関する授業内容が完了した時点で、小テストを実施する。必要に応じて授業時間以外に予習・復習をし、いつでも発表できるように準備すること。</p>						
学習成果	L01						
	L02	各疾患、とりわけ生活習慣病の成因や重症度、診断基準などが解説でき、その病態にあった各種療法の有用性を説明することができる。また、そのことから栄養指導の客観的な判断の根拠を述べることができる。					
	L03	各種栄養療法とその特徴を説明することができる。また、現代社会において実施されている栄養サポートチームの役割や在宅栄養の実際を知ることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストは試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自に返却する。						
教科書/参考図書	教科書:「臨床栄養学」 中村・川島・外山編集(南江堂) 糖尿病食事療法のための食品交換表 日本糖尿病学会編(文光堂)						
履修上の留意点やルール等	<p>講義中の飲食、携帯電話の使用は厳禁とする。また、欠席日に配布された資料や講義内容のまとめは各自が自己管理すること。</p> <p>事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:管理栄養士、職歴:42年) がんセンター栄養管理としての経験を活かし、栄養・食事療法等において実務経験を反映させる						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高評価は授業に集中し、必要なことはきちんとノートにとる。また、分かりにくい点があれば積極的に質問する。		10		
レポート/作品					
発表	予習課題に対して十分な準備がされて分かりやすく発表できている。		10		
小テスト	授業目標ごとに実施する記述式の問題で、解答する。			20	
試験	まとめ試験で記述式の問題とする。 前期は 15 回以降、後期は 30 回以降に実施する。			60	
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	講義ガイダンス(授業のねらいと進め方・学習方法・成績評価法の説明) 臨床栄養学の基礎【講義】
	事前・事後学習	臨床栄養の意義と目的についてまとめる
2	授業内容	チーム医療とは・栄養ケア・マネジメントとは【講義】
	事前・事後学習	NST が登場するに至った社会的背景と栄養士に求められているものについてまとめる
3	授業内容	傷病者の栄養アセスメント・栄養ケア計画【講義】
	事前・事後学習	栄養スクリーニングにはどのような項目があるのかまとめる
4	授業内容	栄養・食事療法、栄養補給の方法【講義】
	事前・事後学習	栄養・食事療法、栄養補給の方法をまとめる
5	授業内容	傷病者の栄養教育について【講義】
	事前・事後学習	医療分野・介護分の健康教育をまとめる
6	授業内容	モニターリングと評価【講義】
	事前・事後学習	モニターリングと栄養ケア計画の修正の関係をまとめる
7	授業内容	栄養ケアの記録・栄養管理プロセス【講義】
	事前・事後学習	栄養ケア記録の意義をまとめる
8	授業内容	薬と栄養・食物の相互関係【講義】
	事前・事後学習	薬によりおこる栄養状態についてまとめる
9	授業内容	栄養障害【講義】
	事前・事後学習	過栄養と低栄養についてまとめる
10	授業内容	肥満とメタボリックシンドローム【講義】
	事前・事後学習	メタボリック症候群の概念についてまとめる
11	授業内容	糖尿病の栄養管理 1【講義】
	事前・事後学習	糖尿病の栄養管理についてまとめる
12	授業内容	糖尿病の栄養管理 2【講義】
	事前・事後学習	糖尿病食品交換表の利用についてまとめる
13	授業内容	脂質異常症・高尿酸血症【講義】
	事前・事後学習	高脂血症の栄養管理についてまとめる
14	授業内容	消化器疾患 1 (口内・食道・胃・腸疾患)【講義】
	事前・事後学習	消化管疾患と栄養管理についてまとめる
15	授業内容	消化器疾患 2 (肝臓疾患・膵疾患)【講義】
	事前・事後学習	消化器系と栄養管理についてまとめる
16	授業内容	循環器疾患 1 (高血圧症・動脈硬化症)【講義】
	事前・事後学習	高血圧症・動脈硬化症の栄養管理についてまとめる
17	授業内容	循環器疾患 2 (心不全、冠動脈疾患、脳血管障害)【講義】
	事前・事後学習	心疾患・脳血管疾患の栄養管理についてまとめる
18	授業内容	腎疾患 1 (糸球体腎炎・ネフローゼ症候群)【講義】
	事前・事後学習	腎疾患の栄養管理についてまとめる
19	授業内容	腎疾患 2 (慢性腎臓病)【講義】
	事前・事後学習	慢性腎病(CKD)の栄養管理についてまとめる
20	授業内容	内分泌疾患【講義】
	事前・事後学習	ホルモンと栄養管理についてまとめる
21	授業内容	感覚器・神経疾患・摂食障害【講義】
	事前・事後学習	摂食・嚥下障害と栄養障害についてまとめる
22	授業内容	呼吸器疾患【講義】
	事前・事後学習	COPD の栄養管理についてまとめる
23	授業内容	血液系の疾患・病態【講義】
	事前・事後学習	貧血の栄養管理についてまとめる

24	授業内容	筋・骨格系疾患【講義】
	事前・事後学習	骨粗鬆症・サルコペニアの栄養管理についてまとめる
25	授業内容	免疫・アレルギー疾患・感染症【講義】
	事前・事後学習	食物アレルギーについてまとめる
26	授業内容	がん・術前・術後【講義】
	事前・事後学習	がん疾患の栄養管理についてまとめる
27	授業内容	クリティカル・ケア・摂食機能の障害【講義】
	事前・事後学習	摂取・嚥下障害の栄養管理についてまとめる
28	授業内容	乳幼児・小児疾患【講義】
	事前・事後学習	乳幼児・小児疾患の栄養管理についてまとめる
29	授業内容	妊産婦・授乳婦の疾患・病態【講義】
	事前・事後学習	妊産婦・授乳婦の疾患の栄養管理についてまとめる
30	授業内容	老年期症候群【講義】
	事前・事後学習	フレイルについてまとめる